

第 100 期 中間報告書

平成25年4月1日から  
平成25年9月30日まで

大崎電気工業株式会社

# 行動指針

---

## O P E N M I N D

お客様に喜ばれる製品づくりを第一に心がけます

## S O C I E T Y

社会と調和し、社会とともに発展を目指します

## A C T I V I T Y

一人ひとりの力を最大限に活かし、夢とゆとりを創りだします

## K N O W L E D G E

広く外の動きに関心を持ち、新しいものに積極的に挑戦していきます

## I N T E G R A T I O N

会社全体の立場にたって考え、協力体制を作っていきます

## C O N T E N T S

---

●株主の皆様へ……………	1
●四半期連結財務諸表 ……	4
●当社製品のご案内…………	6
●会社の概要……………	8
●株式の概況……………	9
●株主メモ	

---

# 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第100期第2四半期決算(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。



取締役会長

渡邊 佳英

## ●企業集団の現況に関する事項

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、厳しい状況から抜け出しつつあり、持ち直しの動きが強くなってきております。海外景気の下振れ等リスク要因が残っているものの、企業収益の改善や円高・デフレからの脱却等、着実に回復に向けた動きが出てきております。

当社グループの経営環境は、計測制御機器事業では、主力取引先である国内電力会社の業績悪化の影響により混沌とした状態が続いております。来年度以降は本格的なスマートメーター普及が控えてはおりますが、足下の状況としては電力各社が経費削減を強気に推し進める中、メーカー間の競争も激化し、厳しい状況が継続しております。なお、海外向けの電力量計市場は比較的堅調に推移しております。一方、FPD（フラットパネルディスプレイ）関連装置事業におきましては、主要顧客が属するデジタル家電業界やLED照明業界などにおいて設備投資回復の動きが遅く、新規の設備投資が引き続き抑制される状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは販売促進活動ならびに原価低減活動を推進するなど売上の拡大と経営効率化に取り組み、全社をあげて業績の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、計測制御機器事業で国内の一部電力会社向け製品の売上高が減少しましたが、海外事業が好調であったこと等により前年同期比0.3%増の288億8千5百万円となりました。

利益面につきましては、計測制御機器事業では海外事業が堅調に推移しましたが国内電力会社向け製品の需要減少および販売価格の低下等により営業利益は前年同期比45.8%減の4億1千5百万円となりました。また、受取配当金の減少等により経常利益は前年同期比51.0%減の5億5千2百万円、四半期純利益は前年同期比1億8千9百万円増加し2億9千万円となりました。

当社グループのセグメント別当第2四半期連結累計期間業績の状況は次のとおりであります。

**(計測制御機器事業)**

当事業は、海外事業でオセアニア地域の電力量計販売や東南アジア地域の盤製品販売が好調に推移しましたが、国内の電力会社向け製品で一部製品の需要が減少したことや販売価格が低下していること等により売上高は前年同期比0.4%減の278億2千3百万円、営業利益は前年同期比43.9%減の5億2千7百万円となりました。

**(FPD関連装置事業)**

当事業は、センサーデバイス・高機能デバイス関連装置の売上高は減少しましたが、エネルギー・照明関連装置、FPD関連装置等の売上高が増加しました。この結果、売上高は前年同期比26.5%増の8億9千1百万円、営業損失は前年同期比4千8百万円減少し2億6百万円となりました。

**(不動産事業)**

当事業の売上高は前年同期比5.0%増の2億3千9百万円、営業利益は前年同期比10.9%増の9千1百万円となりました。

なお、セグメント別売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高6千9百万円を含めて表示しております。

**● 通期の見通しと配当金について**

当社グループにとりましては、主力取引先である国内電力会社の業績悪化など予断を許さない経営環境が続くものと思われま

す。厳しい環境下ではありますが、計測制御機器事業では来年度から本格導入が始まるスマートメーターへ向けた準備、FPD関連装置事業では既存製品の競争力強化と積極的な新製品開発を中心に事業活動を一層強化してまいります。また、OSAKI United Internationalを中心としたグローバル事業のさらなる拡大とともに、引き続き製造コストの低減を推進し、経営体質の強化ならびに収益力の向上に努めてまいります。

通期の業績につきましては、売上高620億円、営業利益10億円、経常利益10億円、当期純利益につきましては5億円を見込んでおります。

なお、中間配当金につきましては、当初の計画通り一株につき6円00銭といたしました。また、通期の配当金につきましては、中間配当金6円00銭と合わせて一株につき12円とする予定であります。

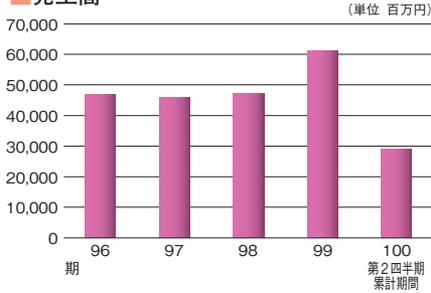
株主の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

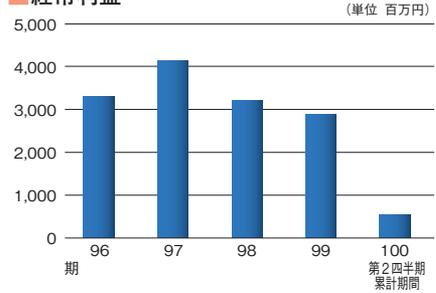
取締役会長 渡邊 佳英

## ●業績の推移

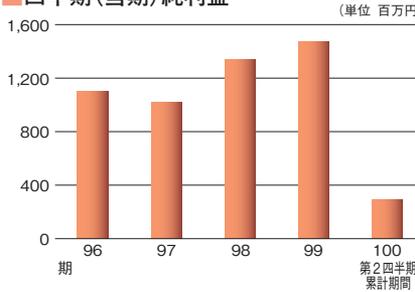
### 売上高



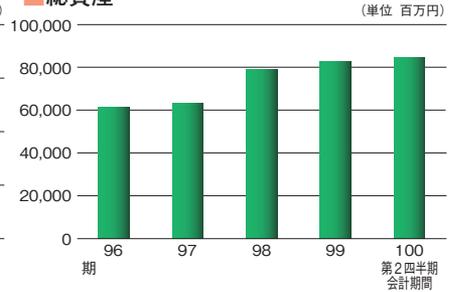
### 経常利益



### 四半期(当期)純利益

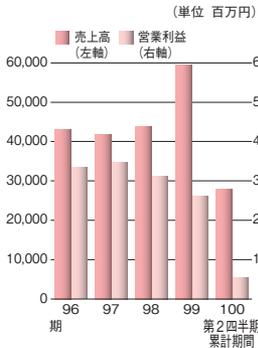


### 総資産

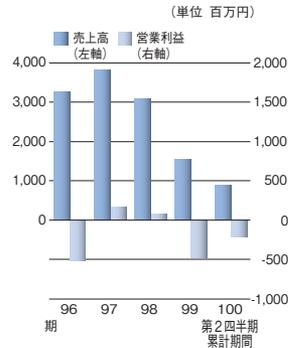


## ●セグメント別売上高、営業利益

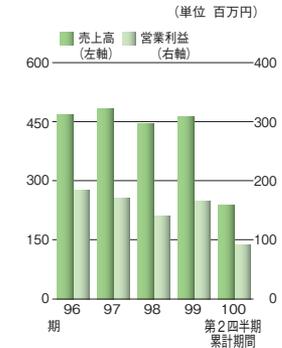
### 計測制御機器事業



### FPD関連装置事業



### 不動産事業



# 四半期連結財務諸表(要旨)

## ● 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	41,898	43,624
固定資産	40,758	41,081
有形固定資産	29,040	28,394
無形固定資産	4,230	4,395
投資その他の資産	7,487	8,291
資産合計	82,656	84,706
<b>負債の部</b>		
流動負債	20,132	16,243
固定負債	22,692	26,850
負債合計	42,825	43,093
<b>純資産の部</b>		
株主資本	26,243	26,333
資本金	4,686	4,686
資本剰余金	4,775	4,775
利益剰余金	18,630	18,707
自己株式	△1,849	△1,836
その他の包括利益累計額	2,054	4,029
その他有価証券評価差額金	398	982
為替換算調整勘定	1,656	3,047
新株予約権	249	298
少数株主持分	11,283	10,951
純資産合計	39,830	41,612
負債純資産合計	82,656	84,706

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ● 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	28,793	28,885
売上原価	20,915	21,344
売上総利益	7,878	7,541
販売費及び一般管理費	7,111	7,125
営業利益	767	415
営業外収益	644	379
営業外費用	283	242
経常利益	1,128	552
特別損失	368	236
税金等調整前四半期純利益	759	316
法人税、住民税及び事業税	409	181
法人税等調整額	214	33
少数株主損益調整前四半期純利益	136	102
少数株主利益又は少数株主損失(△)	35	△188
四半期純利益	101	290

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,167	1,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,106	△1,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	26	1,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	108	373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△803	1,217
現金及び現金同等物の期首残高	12,643	13,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,840	14,264

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 当社製品のご案内

マンション向けエネルギー管理システム（MEMS）のコアとなる「スマートメーターTAシリーズ」

## ● ターゲット市場について

当社は、電力量計の専門メーカーとして、従来から電力取引メーターの開発や電気・ガスメーター等の遠隔検針の製品開発を行ってきております。

今回ご案内する製品は、これまでのリソースを活用し、今後、益々普及が期待される「高圧一括受電マンション」をターゲットとしたエネルギー管理システム（MEMS）に使用する「スマートメーターTAシリーズ」です。

「スマートメーター」とは、一般に通信機能を有した次世代型電力量計を指しますが、データ保持機能とともに開閉機能、電圧・電流計測機能等を有するモデルも含めた総称となっています。

また、「高圧一括受電」とは、電力会社と高圧一括受電事業者が高圧受電契約を結び、各戸には事業者から低圧電力を供給する受電方式を指します。2020年には100万戸を超える世帯に普及するものとの予測例もあり、今後拡大が期待される市場です。また、テナントビル等の検針・エネルギーマネジメント市場への展開も視野に入れシステム展開してまいります。

## ● 「スマートメーターTAシリーズ」の主な特長

今回紹介する「スマートメーターTAシリーズ」は、次の特長を有しています。

- ・ 計測したデータの保持機能  
時計機能を内蔵し、30分ごとの電力使用量を最大44日分記憶しています
- ・ 遠隔制御可能な開閉器機能  
開閉器を内蔵（単相3線式60A計器のみ）しているため、負荷制限機能・自動投入機能を使用することができます
- ・ 通信方式が選択可能  
設置状況により内蔵する通信方式を、①PLC（電力線通信）②有線（RS-485）③特小無線（920MHz）の3種類から選択して使用することができます
- ・ 日本電気計器検定所の型式承認を取得した計器です（検定品・未検定品の選択可）

## ● マンション向けエネルギー管理システム（MEMS）

当社の「マンション向けエネルギー管理システム（MEMS）」は、スマートメーターを使用しマンション各戸の遠隔検針を行う「スマートメーターリングシステム」と高圧受電電力を監視するデマンドコントロール装置を組合せ、一元管理を行うエネルギー管理システムです。

スマートメーターで各戸のデータ計測を行い消費電力の見える化を、またデマンドコントロール装置で高圧受電デマンド監視や共用部負荷の自動制御を実現しています。

エネルギー管理システム導入により、きめ細かな顧客サービスや電力逼迫時の需給対策、日々の運用改善に対応することができます。

# 高圧一括受電マンションのエネルギー管理向け スマートメーター TAシリーズ&AMシリーズ

## スマートメーター TAシリーズ

- 時計内蔵、30分使用量を最大44日分記憶
- 遠隔制御可能な開閉器機能内蔵
- 通信方式が3種類から選択可能
- 検定品と未検定品の選択可能

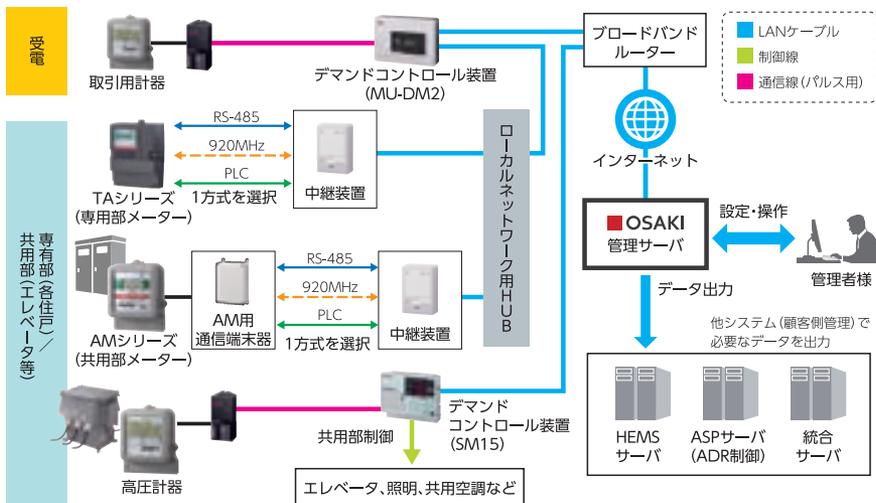


## スマートメーター AMシリーズ

- 時計内蔵、30分使用量を最大44日分記憶
- 設定日時による検針機能保有
- 瞬時電力の計測可能
- 通信方式が3種類から選択可能  
(別途「AM用通信端末器」経由)



## マンション向けエネルギー管理システム(MEMS)イメージ



# 会社の概要 (平成25年9月30日現在)

## ● 会社概要

■ 設立年月日	昭和12年1月26日	
■ 資本金	4,686百万円	
■ 主要な事業内容	電気機械器具、装置並びに一般機械器具、装置の製造及び販売	
■ 従業員数	462名	
■ 事業所		
本社	〒141-8646 東京都品川区東五反田二丁目10番2号 東五反田スクエア	電話 (03) 3443-7171 (代表)
埼玉事業所	〒354-8501 埼玉県入間郡三芳町藤久保1131番地	電話 (049) 258-1205
札幌営業所	〒060-0005 札幌市中央区北五条西五丁目2番地12 住友生命札幌ビル	電話 (011) 251-6622
仙台営業所	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目5番1号 オーク仙台ビル	電話 (022) 223-3747
名古屋営業所	〒461-0004 名古屋市東区葵三丁目23番10号 千種ファーストビルかとう	電話 (052) 933-2229
大阪営業所	〒531-0072 大阪市北区豊崎三丁目20番9号 三栄ビル	電話 (06) 6373-2556
広島営業所	〒730-0037 広島市中区中町9番12号 中町三井ビル	電話 (082) 243-1611
沖縄営業所	〒902-0077 沖縄県那覇市長田一丁目22番18号	電話 (098) 832-7406

## ● 役員

取締役会長 (代表取締役)	渡邊 佳英	取締役	堀 長一郎
取締役社長 (代表取締役)	松井 義雄	取締役	水田 茂
取締役副社長 (代表取締役)	渡辺 光康	取締役	横井 博幸
専務取締役	川端 晴幸	取締役	大畑 正和
常務取締役	高野 澄雄	取締役	上野 隆一
常務取締役	根本 和郎	取締役	飛澤 久夫
取締役	沼崎 邦明	常勤監査役	吉野 伸
取締役	山中 利雄	監査役	高橋 健一郎
取締役	駒 沢 聡	監査役	阿蒜 達雄
		監査役	山本 滋彦

(注) 監査役のうち、阿蒜達雄、山本滋彦の両氏は、社外監査役であります。

## ● グループ会社

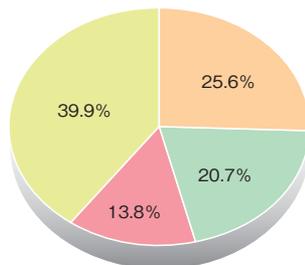
株式会社エネゲート	大崎データテック株式会社	大崎エステート株式会社
大崎電気システムズ株式会社	大崎テクノサービス株式会社	PT.METBELOSA
岩手大崎電気株式会社	大崎エンジニアリング株式会社	OSAKI United International Pte. Ltd.
大崎プラテック株式会社	株式会社オー・イー・シー	沢 他

# 株式の概況 (平成25年9月30日現在)

## ●株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 35,668,559株  
(自己株式2,882,125株を除く)  
 株主数 4,310名

## ●所有者別株式分布状況



金融機関 25.6%  
 その他の法人 20.7%  
 外国法人等 13.8%  
 個人その他 39.9%

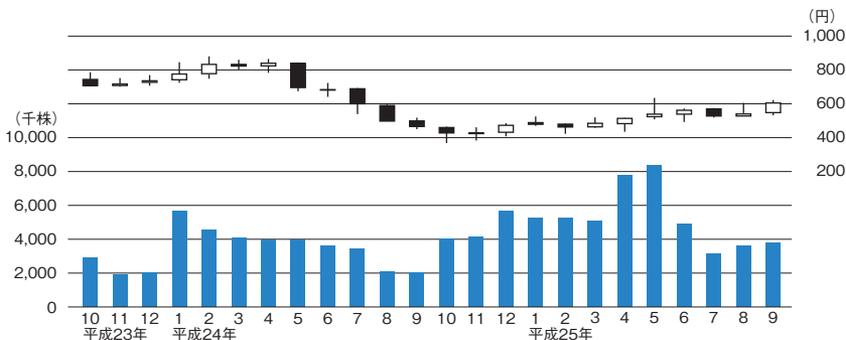
(注) 自己株式は個人その他に含まれております。

## ●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,552	4.3
大崎電気工業取引先持株会	1,477	4.1
渡邊佳英	1,151	3.2
九州電力株式会社	1,109	3.1
サチスエリックパブリシティロブエスエルコムアガト	1,109	3.1
富国生命保険相互会社	1,104	3.0
中部電力株式会社	1,020	2.8
関西電力株式会社	1,000	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	939	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	852	2.3

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数第2位以下を切捨てて表示しております。

## ●株価と出来高の推移



## ●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.osaki.co.jp/">http://www.osaki.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他 のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞 に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 大崎電気工業株式会社

東京都品川区東五反田二丁目10番2号

電話 (03) 3443-7171

ホームページアドレス <http://www.osaki.co.jp/>